



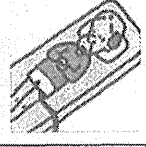


6-a. 排泄の動作*

排泄機能は、排泄の動作、用いている器具および尿意・便意を評価する。排泄については、尿のコントロールを中心に聞き取りを行う。これは、排尿の頻度が排便の頻度より多いためである。排便について、何か特記すべきことがあれば、特記事項に記入する。たまたに失敗するような場合は、ふだんの生活でよりよいステージを基本として判断する。

		ステージ	状態	状態のイメージ	
		5	排泄の動作を行っている。		
排泄の動作 の最終 段階	排泄の後に残りの後始末を すること。 洗浄機に拭く、水洗を済す、 お拭きした紙や綿を拭く、 ポータブルトイレの処理、汚物の 処理等を含む。	行っている	↑		
		行っていない	↓		
		4	排泄の動作を行っているが、 ズボン・パンツの上げ下ろしは行 っていない。		
ズボンやパ ンツの上げ 下ろし	排泄の際、ズボン・パンツ 等の上げ下ろしを自分です ること	行っている	↑		
		行っていない	↓		
		3	ズボン・パンツの上げ下ろし は行っていないが、洋式便所 への移乗を行っている。		
洋式便所へ の移乗	洋式便所への移乗と、洋式 便所からの移乗。	行っている	↑		
		行っていない	↓		
	※トイレ内の移動の際、姿勢の保持を自分で行っていない場合は「行っていない」としてください。 ※移乗ができず、洋式トイレを利用していない場合も「行っていない」としてください。		2	洋式トイレの移乗が自分で行えないが、介助が必要。または看護 から介助で排泄を行っている。	
床上での 排泄	医療的な身体管理のため、 人工肛門・尿カテーテル・ おむつ等の使用	使用している	↑		
		使用していない	↓		
		1	尿閉(膀胱瘻を含む)や医療 的な身体管理のために膀胱 等へのカテーテルなどを使 用している。		

*「状態判定」は基本的に上から下に難易度ステージ(高→低)を設定している。

<排泄の動作のスケール 判定基準>

【ステージ5の判断】

排尿後の後始末も含めて、排尿動作が自立している場合、ステージ5と判断する。判断基準は、排尿後に、拭く、水洗を流す等の後始末を行っている場合である。

【ステージ4の判断】

ステージ4は尿意の意識に対応してトイレに行き、自分でズボンの上げ下ろしまで行っているかどうかを判断する。この前提は、次のステージの洋式トイレへの移乗を行っていることが前提になる場合が多いが、ナースコールを押し介助者がトイレまで連れていけば、その後は介助なしにズボンの上げ下ろしを行っている場合は、ステージ4と判断する。

【ステージ3の判断】

ステージ3は、洋式便所への移乗は自立している場合が含まれる。もし、トイレまでの移動は介助が必要であっても、トイレ内での移乗を自分で行っている場合が該当する。在宅で調査される場合、洋式トイレがなく和式トイレのみであり、この活動を行っていない場合は、行っていないと判断する。その際にズボンの上げ下ろし等を自分で行っている場合は、ステージ4となる。

【ステージ2の判断】

洋式便所への移乗に、介助を要する場合である。トイレ内の移動の際、姿勢の保持を自分で行っていないような場合は、ステージ2となる。また、ポータブルトイレを含めて移乗ができず、洋式トイレ(ポータブルを含む)を利用していない場合は、行っていないと判断する。

【ステージ1の判断】

床上での排泄において、尿閉(膀胱瘻を含む)や医療的な身体管理のために、膀胱等へのカテーテルを使用している場合、人工肛門やおむつを使用している場合は、ステージ1に該当する。






6-b. 補助具・器具の使用状況と、尿意の意識

排泄に関するアセスメントは、人の尊厳に関することでもあるため、利用者の気持ちに配慮し、慎重に行いたい。以下の項目について、「なし」・「あり」で判断する。

	なし	あり
ポータブルトイレの使用	0	1
尿カテーテルの利用	0	1
人工肛門の使用	0	1
おむつの使用	0	1
尿意を意識することができるか	0	1
便意を意識することができるか	0	1

7-a. 入浴動作*

入浴については、「入浴動作」と「入浴手段」を分けてアセスメントを行う。ふだんの状態に基づいて判断する。もし、転倒等の危険を理由に、ふだんから浴槽に出入りをさせていない場合は、行っていないと判断する。ICFには入浴に関連した項目として、「活動と参加(A/P)」に「体の一部を洗うこと」、「全身を洗うこと」、「身体を拭き乾かすこと」の3つのコードがある。しかし、老健施設や在宅介護では、それらを同様に区分するよりは、入浴動作をどの程度行っているか、ということの情報共有を行うほうがメリットが大きいと判断した。この内容は、一部「基本動作」と重複している。

	ステージ	状態	状態のイメージ
	5	安定した浴槽の出入りと洗身を行っている。	
安定した浴槽の出入りと洗身	行っている	↑	
	行っていない	↓	
	4	安定した浴槽の出入りと洗身が行っていないが、第三者の援助なしで入浴を行っている。	
第三者の援助なしで入浴	行っている	↑	
	行っていない	↓	
	3	第三者の援助なしで入浴することを行っていないが、一時的な浴室での座位保持を行っている。その際、入浴に必要な必要さが介助が与えられている。	
浴室内の座位保持	行っている	↑	
	行っていない	↓	
	2	浴室内の座位保持も行って、一般浴での入浴を行っている。入浴(特殊浴)も行っている。	
入浴の実施	行っている	↑	
	行っていない	↓	
	1	入浴は行っていない。	

※「状態判定」は基本的に上から下に難易度ステージ(高→低)を設定している。

<入浴動作のスケール 判定基準>

【ステージ5の判断】

ふだん使用している浴槽で、洗身を含め入浴動作全般を行っている場合を、ステージ5とする。

【ステージ4の判断】

日ごろの入浴はなんとか自分で行っているが、不十分であることが認識されている場合である。ふだん1人でシャワーのみしか使用していない場合で、かつ洗浄が不十分である場合が該当する。地域性などから入浴を行わない場合は、洗い残しの程度から判断することになる。見守りのみの援助が行われているような場合は、ステージ4である。

【ステージ3の判断】

浴室内での座位保持は安定しているが、見守り・指示・手を添える・洗身の不十分などところを手伝う程度の第三者の援助で入浴している場合である。ステージ4との違いは、ステージ4がふだんから自分で行っている場合で、ステージ3はふだんから介助がなされている場合である。

【ステージ2の判断】

ステージ3と比較して、浴室内で座位保持を行っていない場合が、ステージ2となる。

【ステージ1の判断】

ステージ1は、入浴を行っていない場合である。

7-b. 入浴手段






下記の項目から該当する入浴手段を確認する。

1. 一般浴
2. 介助浴
3. 座っての機械浴
4. 臥位での機械浴(特殊浴)

8-a. 整容～口腔ケア*

整容については、「口腔ケア」、「整容」、「衣服の着脱」を分けてアセスメントを行う。この内容は、一部「基本動作」と重複している。また、視力障害等で、セッティングや誘導が必要な場合は、自分でそのステージの行為を行っているかどうかで判断する。

「口腔ケア」のスケールでは、ふだん行っている最もステージの高い活動を選択する。

		ステージ	状態	状態のイメージ
		5	義歯の手入れなどの口腔ケアを自分で行っている。	
口腔ケア	口唇の乾燥を防いだり、義歯の手入れなど、口腔ケアについては自分で行っている。	行っている	↑	
		行っていない	↓	
		4	義歯の手入れなどの口腔ケアは自分で行っていないが、歯みがきも自分でセッティングして行っている。	
歯みがき	歯みがきを音段から自分でセッティングして行っている。	行っている	↑	
		行っていない	↓	
		3	自分でセッティングして歯を磨くことは行っていないが、セッティングをすれば、自分で歯みがきを行っている。	
歯みがきのセッティング	音段から、歯みがきのセッティングをすれば、自分で歯みがきを行う。	行っている	↑	
		行っていない	↓	
		2	歯みがきのセッティングをしても自分で歯みがきを行っていないが、「うがい」は自分で行っている。	
うがい	「うがい」だけであれば自分で行っている。	行っている	↑	
		行っていない	↓	
		1	「うがい」を自分で行っていない。	

*「状態判定」は基本的に上から下に難易度ステージ(高→低)を設定している。

<整容～口腔ケアのスケール 判定基準>

【ステージ5の判断】

ふだんから口唇の乾燥を防ぐことや、義歯の手入れなど、口腔ケアについては自分で行っている場合に、ステージ5と判断する。

【ステージ4の判断】

口唇の乾燥を防ぐことや義歯の手入れなどの口腔ケアは自分では行っていないけれど、歯みがきはふだんから自分で行っている場合が該当する。上肢の麻痺などがあり自分で行っていない場合は、ステージ3以下となる。総義歯の場合は、総義歯の手入れを自分で行っていればステージ5、行っていない場合はステージ3、その他、うがいの状態でステージ2、または1と判断する。

【ステージ3の判断】

ステージ3は、ふだんから自分でセッティングして歯を磨くことは行っていないけれど、セッティングをすれば、自分で歯みがきを行っている場合が該当する。

【ステージ2の判断】






歯みがきのセッティングをしても、自分では歯みがきを行っていないけれども、「うがい」のように口をすすぐことだけであれば自分で行っている場合をステージ2と判断する。

【ステージ1の判断】

「うがい」のように口をすすぐことも自分で行っていない場合で、口腔ケア全般に介助を必要とする場合は、ステージ1と判断する。

8-b. 整容～整容*

整容のスケールでは、ふだん行っている最もステージの高い活動を選択する。

		ステージ	状態	状態のイメージ
爪さり	手足のつめを切ることを自分で行っている。	5	爪を切ることを自分で行っている。	
	自分で行っていない。	↓		
髭そり・スキンケア・髪型	髭剃り(男性)やスキンケア(女性)、髪の毛を整えることを自分で行っている。	4	爪も切ることは自分で行っていないが、髭剃りやスキンケア、髪型は自分で行っている。	
	自分で行っていない。	↓		
洗顔	洗顔(洗面台で、あるいは濡れタオルで顔を拭くことなど)を自分で行っている。	3	髭剃りやスキンケア、髪型は自分で行っていないが、洗顔は自分で行っている。	
	自分で行っていない。	↓		
手洗い	手洗いを自分で行っている。	2	髭剃りやスキンケアは自分で行っていないが、手洗いは自分で行っている。	
	自分で行っていない。	↓		
		1	手洗いを自分で行っていない。	

<整容～整容のスケール 判定基準>

【ステージ5の判断】

ふだんから爪切りを使って手足の爪を切ることを自分で行っている場合は、ステージ5と判断する。

【ステージ4の判断】

ふだんから手足の爪を切ることは自分では行っていないけれど、髭剃り(男性)やスキンケア(女性)、髪の毛を整えることはふだんから自分で行っている場合が該当する。

【ステージ3の判断】

ステージ3は、ふだんから自分で髭剃り(男性)やスキンケア(女性)、髪の毛を整えることを行っていないけれど、洗面台で洗顔することや、あるいは濡れタオルで顔を拭くことは、ふだんから自分で行っている場合が該当する。

【ステージ2の判断】

洗面台で洗顔することや、あるいは濡れタオルで顔を拭くことを、ふだんから自分で行っていないけれども、手洗いはふだんから自分で行っている場合は、ステージ2と判断する。寝たきりであっても、ふだんからたらいや洗面器に汲んだ水で手洗いを行っている場合は、ステージ2と判断する。






【ステージ1の判断】

ふだんから手洗いも自分で行っていない場合で、整容全般に介助を必要とする場合は、ステージ1と判断する。

*「状態判定」は基本的には上から下に難易度ステージ(高→低)を設定している。

8-c. 整容～衣服の着脱*

衣服の着脱のスケールでは、ふだん行っている最もステージの高い活動を選択する。

		ステージ	状態	状態のイメージ
衣類の畳え	衣類を畳んだり整理することは自分で行っている。	5	衣類を畳んだり整理することは自分で行っている。	
	行っていない	↓		
ズボンやパンツの着脱	ズボン・パンツ等の着脱は自分で行っている。	4	衣類を畳んだり整理することを自分で行っているが、ズボン・パンツの着脱は自分で行っている。	
	行っていない	↓		
ボタンのかけはずし	更衣の際にボタンのかけはずしは自分で行っている。	3	ズボンやパンツの着脱を自分で行っていないが、更衣の際のボタンのかけはずしは自分で行っている。	
	行っていない	↓		
上衣の片袖を通す	上衣の片袖を通すことは自分で行っている。	2	更衣の際のボタンのかけはずしを自分で行っていないが、上衣の片袖を通すことは自分で行っている。	
	行っていない	↓		
		1	上衣の片袖を通すことを自分で行っていない。	
		↓		

*「状態判定」は基本的に上から下に難易度ステージ(高→低)を設定している。

<整容～衣服の着脱のスケール 判定基準>

【ステージ5の判断】

ふだんから衣服を畳んだり、脱いだ衣服を整理することを自分で行っている場合は、ステージ5と判断する。

【ステージ4の判断】

ふだんから衣服を畳んだり、脱いだ衣服を整理することは自分では行っていないけれど、ズボン・パンツ等の着脱をふだんから自分で行っている場合が該当する。立位保持ができない場合、床に座った状態でもズボン・パンツ等の着脱を行っている場合は、ステージ4と判断する。

【ステージ3の判断】

ステージ3は、ふだんからズボン・パンツ等の着脱は自分で行っていないけれど、更衣の際の上着のボタンのかけ外しや、ジッパーを上げ下げすることは自分で行っている場合が該当する。ボタン・ジッパーを用いていない場合、マジックテープの衣服をふだんから用いている場合も、マジックテープの着脱を自分で行っている場合は、ステージ3と判断する。

【ステージ2の判断】






更衣の際の上着のボタンのかけ外しや、ジッパーを上げ下げすることは、ふだんから自分で行っていないけれども、上衣の片袖を通すことは、ふだんから自分で行っている場合は、ステージ2と判断する。

【ステージ1の判断】

ふだんから上衣の片袖を通すことも自分で行っていない場合で、衣服の着脱全般に介助を必要とする場合には、ステージ1と判断する。

9-a. 社会参加～余暇※

余暇のスケールでは、ふだん行っている最もステージの高い活動を選択する。

		ステージ	状態	状態のイメージ
		5	施設や家を1日以上離れる外出または旅行をしている。	
旅行	旅行に行く（家および施設を1日以上離れる。施設から家への一時帰宅を除く）。	↑	している	
		↓	していない	
		4	旅行はしていないが、個人による趣味活動をしている。	
個人の趣味活動の実施	個人による趣味活動の実施。	↑	している	
		↓	していない	
		3	屋外で行うような個人的趣味活動はしていないが、屋内でする程度のことはしている。	
レクリエーション	集団での体操などの集団レクリエーションへの参加。	↑	している	
		↓	していない	
		2	集団レクリエーションへは参加していないが、一人でテレビを楽しんでいる。	
テレビ	施設内や家でテレビを見る。	↑	している	
		↓	していない	
		1	テレビを見たり、ラジオを聴いていない。	

※「状態判定」は基本的に上から下に難易度ステージ(高→低)を設定している。

＜社会参加～余暇のスケール 判定基準＞

【ステージ5の判断】

施設からの一時帰宅ではなく、ふだんから施設や家を1日以上離れる外出や旅行を自分で行っている場合は、ステージ5と判断する。

【ステージ4の判断】

ふだんから施設や家を1日以上離れる外出や旅行を自分で行っていないけれど、屋外で行うような趣味活動を自分でしている場合が該当する。転倒等の危険があるため、趣味活動の際に支援や介助を受けている場合でも、自分の意思でしている場合は、ステージ4と判断する。

【ステージ3の判断】

ステージ3は、ふだんから屋外で行うような趣味活動を自分でしていないけれど、施設内で行う集団体操など、屋内で行う集団でのレクリエーションに自ら参加する程度のこととはしている場合が該当する。

【ステージ2の判断】

施設内で行う集団体操など、屋内で行う集団でのレクリエーションに自ら参加することは、ふだんから行っていないけれども、施設内や家でひとりでテレビを楽しむことはしている場合は、ステージ2と判断する。

【ステージ1の判断】

ふだんから施設内や家でひとりでテレビを楽しむことをしない場合で、テレビを見たり、ラジオを聴いて楽しむことをしていない、出来ない場合には、ステージ1と判断する。

9-b. 社会参加～社会交流*

社会参加については、「社会交流」と「余暇」を分けてアセスメントを行う。ふだんの状態に基づいて判断する。もし、転倒等の危険を理由に、ふだんから外出等をさせていない場合は、していない・行っていないと判断する。

		ステージ	状態	活動のイメージ
		5	情報伝達手段を用いて交流を行っている。	
通信機器を用いての交流	電話をかけた(e-mail、手紙等含む。相手から返ってくるのは除く)。	行っている	↑	
		行っていない	↓	
		4	通信機器を用いて自ら連絡を取ることは行っていないが、援助があるため外出している。	
外出	施設外に外出した(親族・知人を訪ねる目的で)。	している	↑	
		していない	↓	
		3	外出はしていないが、親族・友人の訪問を受け会話している。	
友人との会話	職員や家族以外の友人・知人と会話した。	している	↑	
		していない	↓	
		2	近所づきあいはしていないが、施設利用者や家族と会話している。	
身近な人との会話	施設職員や家族などと会話した。	している	↑	
		していない	↓	
		1	会話がせいぜい、していない、できない。	

<社会参加～社会交流のスケール 判定基準>

【ステージ5の判断】

ふだんから電話をかけた、手紙やメールなどの情報伝達手段を用いて交流を自分で行っている場合は、ステージ5と判断する。

【ステージ4の判断】

ふだんから電話をかけた、手紙やメールなどの情報伝達手段を用いて交流を自分で行っていないけれど、親族・知人等を訪ねる目的で外出している場合が該当する。転倒等の危険があるため、外出の際に支援や介助を受けている場合でも、自分の意思で外出している場合は、ステージ4と判断する。

【ステージ3の判断】

ステージ3は、ふだんから外出はしていないけれど、施設職員や家族以外の親族・友人・知人の訪問を受け、会話している場合が該当する。

【ステージ2の判断】

施設職員や家族以外の親族・友人・知人の訪問を受け、会話することは、ふだんから行っていないけれども、同じ施設の入所者や職員、家族との会話はしている場合は、ステージ2と判断する。

【ステージ1の判断】

ふだんから同じ施設の入所者や職員、家族と会話することをしていない場合で、会話などの社会交流をしていない、出来ない場合には、ステージ1と判断する。

*「状態判定」は基本的に上から下に難易度ステージ(高→低)を設定している。

